

問4 お住いの地域の身の回りの環境についてお聞きします。次の中から当てはまるものを、満足度、重要度それぞれ1つずつ選び番号を で囲んでください。

項 目	満足度					重要度				
	そう思う	ある程度そう思う	あまり思わない	思わない	わからない	重要	まあ重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
1. 地球環境の保全につながる取組（省エネなど）は、十分に行われていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 資源エネルギーの利活用につながる取組（再生可能エネルギーの推進など）は、十分に行われていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 自然環境（水や緑、生き物など）は豊かだと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 自然環境の保全に繋がる取組（希少性の保全や外来種の対策）は十分に行われていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 生活環境（大気の水質など）は健全で快適だと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 生活環境（ごみの分別・収集・リサイクルなど）は健全で快適だと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 都市環境（まちづくりや景観、交通など）は快適だと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 山や川などの自然の景色は美しいと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 文化的歴史的な財産は保全されていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 安全・安心な食品や、農作物が提供されていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 学校で環境教育が行われていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 市民一人一人の環境に対する意識は高いと思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 行政の環境に対する啓発や施策は行われていると思う。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

- 問5** あなたのご家庭における再生可能エネルギー設備の導入状況について、あてはまるものを各項目で1つ選び番号を で囲んでください。
 また、「4 導入する予定はない」とお答えいただいた方は、導入を妨げる主な理由を下欄から選び番号を記入してください。

再生可能エネルギー設備	導入している	導入を予定している (3年以内)	条件が整えば導入したい	導入する予定はない	導入を妨げる主な理由
1. 太陽光発電設備 1	1	2	3	4	
2. 木質バイオマス燃焼設備 2	1	2	3	4	
3. 太陽熱利用設備 3	1	2	3	4	
4. 地中熱利用設備 4	1	2	3	4	
5. その他の再エネ設備 (具体的に)	1	2	3	4	

< 導入を妨げる主な理由 >

1. 生活環境を変えたくない 2. 費用がかかる 3. 手間がかかる 4. 効果に疑問がある
 5. 導入方法が分からない 6. 特に理由はない

1 太陽光発電設備

屋根などに設置した太陽光発電パネルを用い、太陽の熱エネルギーにより発電する設備

2 木質バイオマス燃焼機器

木質のペレット、チップまたは薪を燃料として燃焼させる、ストーブやボイラ - などの設備

3 太陽熱利用設備

太陽の熱を屋根の上などに設置した集熱器で集めて、温水や温風を作り、給湯や冷暖房に利用する設備

4 地中熱利用設備

地上と地中の温度差を利用した熱エネルギー設備。消雪などに活用されている

- 問6 あなたが日常生活の中で実践している環境に関する取組みについて、各項目からそれぞれ最も近いものを1つ選び番号を で囲んでください。
- また、「4 実行する予定はない」とお答えいただいた方は、実行を妨げる主な理由を下欄から選び番号を記入してください。

行 動 内 容	8割以上 実行して いる	5割程度 は実行し ている	今後実行 したい	実行する 予定は ない	実行を 妨げる 主な理由
1. 環境に関する学習会や講演会に参加する。	1	2	3	4	
2. 自然観察や自然散策(里山歩きなど)のイベントに参加する。	1	2	3	4	
3. 有機農法等、環境に配慮した農作物を積極的に購入する。	1	2	3	4	
4. 余分な包装は断り、ごみの減量化に努める。	1	2	3	4	
5. できるだけ詰め替えができる製品を買う。	1	2	3	4	
6. 少々高額でも、なるべくリサイクル商品を購入する。	1	2	3	4	
7. ごみの分別をおこない、なるべく資源ごみとして出している。	1	2	3	4	
8. 食品ロス低減(必要な量を買う、食事は適量を作る、宴会では食べきるなど)に努めている。	1	2	3	4	
9. マイ箸やマイボトルの持参に努めている。	1	2	3	4	
10. 夏はグリーンカーテンなどで窓から入る日差しを遮るようにしている。	1	2	3	4	
11. 蛇口の水はこまめに止めている。	1	2	3	4	
12. ふろの残り湯を洗濯等に利用している。	1	2	3	4	
13. 洗濯の洗剤は、説明書を読み適量を使用している。	1	2	3	4	
14. 生ごみは水切りをしてから捨てている。	1	2	3	4	
15. 生ごみの堆肥化に取り組んでいる。	1	2	3	4	
16. 食用油は、そのまま排水溝に流さないようにしている。	1	2	3	4	
17. 空き缶やたばこの吸い殻はポイ捨てしない。	1	2	3	4	
18. 地域での清掃活動(河川清掃、クリーン作戦など)に参加している。	1	2	3	4	

< 実行を妨げる主な理由 >

1. 生活の便利さ・快適さが損なわれる 2. 生活習慣を変えたくない 3. 費用がかかる
4. 手間がかかる 5. 効果に疑問がある 6. 忘れてしまう 7. 特に理由はない

問6-2 問6の続きです。特に地球温暖化の取組みについてお伺いします。
問6と同様に選択や記入をしてください。

行 動 内 容	8割以上 実行して いる	5割程度 は実行し ている	今後実行 したい	実行する 予定は ない	実行を 妨げる 主な理由
1.家電製品は省エネルギー型のものを購入する。	1	2	3	4	
2.照明は省エネ性能に優れたLED照明などを利用する	1	2	3	4	
3.エコマーク等の環境ラベル付きの商品を購入する	1	2	3	4	
4.買い物の際はマイバッグを持参する	1	2	3	4	
5.低公害車や低燃費車を購入する	1	2	3	4	
6.不必要な照明はこまめに消す	1	2	3	4	
7.エアコンやこたつ等を使用する際、使用時間や設定温度に気をつける	1	2	3	4	
8.掃除機やエアコンのフィルターを定期的に清掃する	1	2	3	4	
9.家電製品はこまめに電源を切る	1	2	3	4	
10.電気製品を使わない時はプラグをコンセントから抜く	1	2	3	4	
11.冷蔵庫に物を詰めすぎたり、むやみに開けない	1	2	3	4	
12.洗濯はできるだけまとめ洗いをする	1	2	3	4	
13.家族で風呂に入るとき、時間をあけずに入り、追い炊きを控える	1	2	3	4	
14.シャワーの使用回数、使用時間を短縮する	1	2	3	4	
15.暖房器具の使用時間や設定温度に気をつける	1	2	3	4	
16.電気・ガスやガソリンなどの使用量を毎月チェックする	1	2	3	4	
17.近くへの用はなるべく歩くか自転車で行く	1	2	3	4	
18.できるだけ自家用車より公共交通機関を利用する	1	2	3	4	
19.自動車に乗る際はエコドライブ運転を心がける	1	2	3	4	
20.タイヤの空気圧など点検整備を心がける	1	2	3	4	

< 実行を妨げる主な理由 >

- 1.生活の便利さ・快適さが損なわれる 2.生活習慣を変えたくない 3.費用がかかる
4.手間がかかる 5.効果に疑問がある 6.忘れてしまう 7.特に理由はない

問7 あなたのご家庭から出た資源ごみをどのように排出していますか。当てはまるもの全てを選び番号を○で囲んでください。

また、「3 もやすごみに出す」とだけお答えいただいた方は、「1 地域の集団回収を利用」や「2 拠点回収を利用」を選択しなかった主な理由を下欄から選び番号を記入してください。

項 目	地域の集団回収を利用	拠点回収を利用	もやすごみに出す	その他 (排出方法を記載)	主な理由
1.新聞紙	1	2	3	()	
2.雑誌	1	2	3	()	
3.段ボール	1	2	3	()	
4.紙パック	1	2	3	()	
5.雑がみ(菓子箱、 広報誌、包装紙、 カレンダーなど)	1	2	3	()	

< 実行を妨げる主な理由 >

- 1.住んでいる地域が集団回収を行っていない
- 2.集団回収の日時がわからない
- 3.集団回収の実施回数が少なく、ごみが溜まってしまう
- 4.集団回収や拠点回収の回収品目がわからない
- 5.集団回収や拠点回収の回収場所がわからない
- 6.集団回収や拠点回収の回収場所に持っていくことができなかつたり面倒である
- 7.特に理由はない

問7-2 あなたのご家庭から出た資源ごみを排出する際、店頭回収を利用していますか。各項目からそれぞれ最も近いものを1つ選び番号を○で囲んでください。

項 目	8割以上 利用している	5割程度 は利用している	今後利用 したい	利用する 予定はない	利用を 妨げる 主な理由
1.びん	1	2	3	4	
2.缶	1	2	3	4	
3.ペットボトル	1	2	3	4	
4.紙パック	1	2	3	4	
5.トレイ類	1	2	3	4	

< 実行を妨げる主な理由 >

- 1.近くで店頭回収を実施していない
- 2.店頭回収の回収品目がわからない
- 3.店頭回収の実施店舗に持っていくことが面倒である
- 4.特に理由はない

問14 地球温暖化の影響に対応するため、行政はどのような分野に重点を置いて進めていくべきだと思いますか。次の中から3つまで選び番号を で囲んでください。

- 1．自然災害分野（短時間強雨や大雨、土砂災害への対策など）
- 2．水資源分野（水不足等への対策など）
- 3．農業分野（農作物の高温耐性品種の開発など）
- 4．健康分野（熱中症や感染症への対策など）
- 5．自然分野（絶滅の危機がある動植物の保全対策など）
- 6．産業・観光分野（事業活動や観光産業に対する影響への対策など）
- 7．特に取り組む必要はない

4．鶴岡市に対する期待についてお聞きします。

問15 あなたが鶴岡市に対して特に期待していることについて、次の中から5つまで選び番号を で囲んでください。

- 1．広報紙、パンフレットなどによる普及啓発を充実する
- 2．インターネット（ホームページ、SNSなど）を活用した普及啓発を充実する
- 3．環境教育・学習を充実する（とくに次世代を担う子供に対して）
- 4．ごみの減量化・リサイクルを推進する
- 5．森林の保全整備、都市公園の整備等緑化を推進する
- 6．地球環境の保全のために活動している市民団体等への支援を行う
- 7．二酸化炭素など温室効果ガスの排出を条例によって規制する
- 8．地球環境に関する調査研究、観測監視体制を整備・充実する
- 9．市自ら省エネルギー機器や環境に配慮した事務用品の購入などに取り組む
- 10．太陽光発電などの再生可能エネルギー設備や高効率省エネルギー設備設置費用への補助
- 11．公共交通機関の利便性の向上と利用促進
- 12．自動車や自転車の共同使用（シェアリング）の推進
- 13．多様な生き物が生息できる環境の保全
- 14．野生鳥獣による農作物への被害防止対策の推進
- 15．侵略的外来生物への対応
- 16．自然資源などを活かした観光の推進
- 17．歴史的建造物や文化財などの保護
- 18．学校や地域での自然体験活動の推進
- 19．その他（)

5. 環境に関連して、よく使われている言葉についてお聞きします。

問16 あなたは、次に示す言葉をご存知ですか。それぞれ、あてはまる番号を一つ選び、で囲んでください。

項 目	内容を 知っている	聞いた ことはある	聞いた ことがない
SDGs（持続可能な開発目標） 世界のさまざまな問題を解決し、持続可能な社会を実現するための包括的な目標として、世界各国が合意した17の目標。経済、社会、環境の3つの側面のバランスのとれた、持続可能な開発を目指している。	1	2	3
ESD（持続可能な開発のための教育） 環境、貧困、人権、平和、開発といった世界規模の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動。	1	2	3
生物多様性 生物種の多様さを意味する語で、(1)「生態系の多様性」＝様々な生態系が存在すること、(2)「種の多様性」＝様々な生物種が存在すること、(3)「遺伝的多様性」＝種は同じでも、生息地域等に応じて遺伝子レベルで異なる特徴があること、という3つのレベルの多様性での保全が必要とされる。	1	2	3
パリ協定 地球温暖化対策に関する2020年以降の新たな国際枠組み。世界の平均気温の上昇を2より也十分低く保つため、すべての加盟国が自国の削減目標を掲げ実行するとともに、5年ごとにその目標をさらに高めることなどが合意された。	1	2	3
国民運動「COOL CHOICE」（クールチョイス） パリ協定で定められた温室効果ガス排出量の削減目標を達成するために、日本が世界に誇る省エネルギー・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動のこと。	1	2	3
海洋プラスチックごみ問題・マイクロプラスチック問題 プラスチックは、きちんと処理されず環境中に流出するものが多く存在する。流出したプラスチックが海に流れ込み、海の生態系に大きな影響を与えている問題を海洋プラスチックごみ問題という。 また、波や紫外線等の影響を受けるなどしたプラスチックが小さな粒子となって生態系に取り込まれ、大きな影響を与えることが懸念されており、マイクロプラスチック問題と呼ばれる。	1	2	3

<p>3R（スリーアール） Reduce（リデュース：ごみの発生・資源の消費をもとから減らすこと）、Reuse（リユース：くり返し使うこと）、Recycle（リサイクル：資源として再び利用すること）の3つの頭文字をとって“3R”という。ごみ減量には、Reduceが最も効果があるとされている。</p>	1	2	3
<p>食品ロス 本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物のこと。日本では平成29年度に、約612万トンの食品ロスが発生したと推計されており、これを日本国民一人当たり換算すると、赤ちゃんからお年寄りまで、毎日お茶碗一杯分（約132g）の食べ物を捨てていることになる。</p>	1	2	3

5. その他

問17 その他、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。